

*The Environmental
Challenge*

Sustainability
Report 2025

みらい
book

*The Environmental
Challenge*

アンケートに
ご協力を
お願いいたします。



SANKO

TEL 0859-44-5367

FAX 0859-42-3864

〒684-0034 鳥取県境港市昭和町5番地17

<https://sankokk-net.co.jp>

▶ 会社概要

商号	三光株式会社
代表取締役社長	三輪 昌輝
設立	1979年9月
資本金	4,800万円
従業員	341名(2026年1月1日現在)

エコで未来を創造する。

SANKO

Creating The Future with Eco

ECOで 「みらい」を 創造する。

三光が取り組んできた1年間の活動を
1冊に集約しました。

新たに広がる事業活動や、
持続可能社会の実現に向けての
環境活動・地域貢献活動を
ご報告します。

SANKO

Sustainability Report 2025

[報告範囲]

対象組織：三光株式会社

※一部、三光グループ会社の活動報告を含みます

対象期間：2024年10月～2025年9月

※一部、対象期間外の情報を含む他、

環境データは2024年4月～2025年3月としています

index

編集方針/目次	02
メッセージ 代表取締役社長 三輪昌輝	04
TopNews2025	06
環境について	08
地域について	10
コンプライアンスについて	12
社員について	14
コラム	16
三光グループの取り組み	17
企業データ	18
会社概要/編集後記	22

本分を買き 新たな価値を 創造する

取り組みを重ね
より良いあり方を追求

三光 株式会社
代表取締役社長

三輪 昌輝

皆さま、平素より格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
このたび、2025年度版CSR報告書を発行する運びとなりました。今年度のサステナビリティレポートでは、「本分を買き、新たな価値を創造する」をテーマに掲げています。創業以来の使命を果たしながら、社会や地域に必要とされる企業であり続けるため、私たちは事業活動を通じて持続可能な未来の実現に挑戦してまいります。まずは、直近の印象深い出来事からご紹介いたします。
このたび、第59回グッドカンパニー大賞において優秀企業賞に選出されました。弊社の属する業界は、「悪貨が良貨を駆逐する」と揶揄されることもあり、風評被害を受けやすい側面がございます。そのため、各社はさまざまな方法で社会貢献に努めておりますが、弊社の取り組みを評価いただいたことを、社員や私自身も大変嬉しく受け止めております。これを機に、なお一層精進してまいり所存です。我が国ではサーキュラーエコノミー（循環経済）の推進が各省庁で一丸となって進められており、静脈産業の役割は極めて大きいと考えております。しかし、事業の発展には依然として課題も多く、今回の受賞がその転機となることを期待しております。こうした挑戦の中で、私たちは本分を買きながら、新たな価値を創造する姿勢を強く持ち続けています。
次に、環境教育等促進法に基づく「体験の機会の場」の認定を、江島工場および潮見コンビナートで取得いたしました。これにより、地域の皆さまの理解がより一層深まることを期待しております。現状に甘んじることなく、体験の機会の質の向上に努めてまいります。教育機関のみならず、地域の環境活動団体や企業の環境部門など、ご関心のある方のお問い合わせをお待ちしております。

企業理念

私たちは人類の永続と繁栄と幸せのため
創造的思考をもって楽しく、真面目に、一所懸命行動し
地域にとってなくてはならない企業であり続けます。

三光株式会社は、企業理念の根幹たる「地域にとってなくてはならない」を創造し、今日まで活動して参りました。近年、「環境」は世界の中心課題であり、SDGsを旗頭に持続可能な社会を構築するべく、活動が日本でも大きく広がってきております。弊社も、17の目標を正しく理解し、その一助となるべく、「楽しく」、「真面目に」、「一所懸命に」活動して参りたいと考えております。引き続き、ご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

また、全国的に蓄電池由来の火災などが増えており、近隣でも災害事例が続いております。こうした災害ごみの処理の相談・依頼に迅速に対応することができ、企業理念である「地域にとってなくてはならない」を体現する象徴的な取り組みとなりました。言葉だけでなく、実際に行動することで、全社員がその重要性を体感できたことは、大きな成果であると考えております。

その他の取り組みとしては、江島工場の排熱蒸気を近隣の工場に供給する事業が順調に進んでおり、2026春には商業運転を開始する予定です。また、新しいリサイクル製品としてフォーミング抑制剤の製造を開始いたします。これにより、従来活用が難しかった塩素系樹脂や無機系廃棄物（鋳さい、ガラスくず等）の再資源化が可能となります。

環境面での整備も進めております。古い建屋の外装・内装を修繕し、景観を整えるとともに、職場環境の改善にも取り組んでおります。特に厳しい作業環境には、強制換気システムや空調設備を順次導入しており、今後もお客様および社員に安心・安全な職場を提供してまいります。

来期も、地域とともに歩み、持続可能な未来を築いてまいります。引き続きご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



Top News 2025

下水汚泥由来バイオ炭でCO₂削減、J-クレジット認証を取得



■ 潮見コンビナート ウェストバイオマス工場



■ バイオ炭

全国初、バイオ炭活用でJ-クレジット認証取得

地域資源の循環とCO₂削減に向けた新たな取り組みとして、下水汚泥由来のバイオ炭の活用を推進しています。

2025年2月、C2X(※)および大山乳業農業協同組合と共同申請した「鳥取県でサステナブルな酪農を実現するためのバイオ炭を利用したCO₂削減活動」が、第63回J-クレジット認証委員会で「バイオ炭の農地施用」の方法論として認証を取得しました。これは全国で初めての下水汚泥由来のバイオ炭による認証です。



※C2Xとは…カーボンニュートラル実現に向けた脱炭素技術、CCUS技術を普及推進するためのオープンイノベーションビジネスプラットフォームとして、設立された一般社団法人です。

バイオ炭の効果とこれから

ウェストバイオマス工場で製造された細粒バイオ炭は、牛舎の堆肥化副資材として活用され、家畜糞尿と混合して堆肥化。その堆肥を採草地に散布することで炭素を土壌に固定し、カーボンネガティブを実現します。これにより年間100t以上のCO₂削減が期待されるほか、臭気軽減、酸性土壌の中和、微生物活性の向上など、環境負荷低減と土壌改良に寄与します。さらに、従来不足していたおが粉の代替としてバイオ炭を利用することで、酪農経営の安定化にも貢献。バイオ炭は350°C超で炭化されており、重金属を含まない安全性が確認されています。

今後は酪農家でのモニタリングを継続し、J-クレジット制度に基づく認証を進めるとともに、当社はバイオ炭の安定供給を通じて地域資源の循環利用を促進し、脱炭素社会の実現に寄与していきます。

「健康経営優良法人2025」「体験の機会の場」認定を取得

健康経営と環境教育で、地域とともに未来を創る

2025年、国が推進する認証を3件取得し、企業価値の向上と地域社会への貢献をさらに強化しました。

健康経営で社員の心身を支える

経済産業省が推進する「健康経営優良法人2025(中小規模法人部門)」に認定されました。本制度は、日本健康会議の方針に基づき、地域の健康課題に即した取り組みを行う企業を顕彰するものです。私たちは「5つの健康」を掲げ、社長をトップとする推進体制のもと、社員一人ひとりの心身の健康増進に向けた施策に継続的に取り組んでいます。今後も具体的な施策を定め、社員向けの研修や制度の見直しなど、より実効性の高い健康経営に取り組んでいきます。

地域とつながる、体験の場を提供

環境省が主管する「体験の機会の場」認定制度において、鳥根県・鳥取県で初の認定企業となりました。江島工場(鳥根県松江市)と潮見コンビナート(鳥取県境港市)が提供する工場見学は、環境教育等促進法に基づき、社会体験型学習の場として評価されました。これらの認定は、地域に根ざした環境教育の推進と、持続可能な社会づくりへの貢献を示すものです。

私たちは、健康経営と環境教育の両面から、社員・地域・社会の未来を支える企業としてこれからも地域とともに歩み、信頼される企業を目指し挑戦を続けます。



■ 社員向け研修(食事チェック)



■ 社員向け研修(アルコール講座)



■ 潮見コンビナート 工場見学



■ 江島工場 工場見学

体験と実践から生まれる 環境意識

『環境を知る第一歩』を届ける

『体験の機会の場認定工場が担う、開かれた環境教育の場』
環境教育の推進と循環型社会の実現に向けた取り組みの一環として、環境省が主管する制度「体験の機会の場」の認定を取得しました。

江島工場では、リサイクル燃料の製造フローや廃棄物の処理工程を、潮見コンビナートでは排熱を活用した蒸気発電や陸上養殖などを中心に、環境負荷低減への取り組みを現場でご覧いただける工場見学を実施しています。これらの活動は、社会体験型の学習の場として評価されました。

2025年7月には江島工場(島根県松江市)が島根県で初めて認定を取得し、続く10月には潮見コンビナート(鳥取県境港市)が鳥取県で初めて認定を受けました。これにより、山陰地域で初の認定企業となりました。

『見て・触れて・学べる、環境を知るきっかけづくり』

「体験の機会の場」認定の基盤となった工場見学をはじめ、次世代を担う子どもたちや地域の皆さまに環境問題への理解を深めていただくため、体験型を中心とした多様な環境学習の機会を提供しています。

座学では、ごみ処理やリサイクル、SDGsについて学べるほか、「産廃カードゲーム」や「炎色反応実験」など、楽しみながら取り組める体験型プログラムも実施しています。

工場見学では、ごみ処理・リサイクル工程や資源の有効活用の仕組みを現場で学ぶことができます。

また、地域の教育機関への出前授業や、お取引先向けの廃棄物セミナーも行うなど、これらの取り組みを通じて、環境リテラシー向上に寄与できるよう、今後も“学び”と“体験”をつなぐ環境学習を推進し、地域とともに持続可能な未来の創造に貢献していきます。

《令和6年度 対応実績》

工場見学: 江島 13件(252名)、潮見 14件(245名)

出前授業: 9件



■ 10号炉



■ 養殖場内



■ RPFヤード



■ 出前授業

環境ボランティアの実施

三光グループでは、春と秋の年2回、地域環境保全を目的とした環境ボランティアを実施しています。本年度は、三光ホールディングス株式会社、三光株式会社、三光エナジーサービス株式会社の社員とご家族を含め、両回合わせて約200名が参加しました。潮見コンビナートや江島工場をはじめ各拠点で草刈りや清掃を行い、工場では約10台の草刈り機を投入して広範囲の除草を実施。短時間ではありますが、袋が次々といっぱいになるほどの草やごみを回収できました。

また、普段顔を合わせる機会の少ない社員同士が協力し合うことで、交流の場としても有意義な時間となりました。



■ 刈った草を集めます



■ 出雲支店集合写真



■ 潮見コンビナート集合写真

「脱炭素と循環型社会の実現へ——私たちの新たな一歩」

持続可能な社会の実現に向けた取り組みをさらに加速させるため、脱炭素や循環型社会の推進、公正で持続可能な取引環境の構築に寄与する各種認証・宣言制度へ参画しました。

- デコ活応援団
- デコ活宣言
- パートナースhip構築宣言
- サーキュラーパートナーズ(CPs)

今後も、脱炭素に資する取り組みの推進はもちろん、取引先との信頼関係をより一層強化し、公正で持続可能な取引環境の構築に努めていきます。



新商品「コンテナガード」の開発

お客さまが抱える課題の解決を目的とした新たな商品として、「コンテナガード」を開発しました。本製品は、従来の小型コンテナに屋根を取り付けることで、廃棄物をさまざまな外的要因から保護するものです。雨による濡れや風による飛散を防ぐとともに、外部からの不法投棄防止にも効果を発揮します。現場の課題やお客さまのニーズに寄り添った商品開発として、より安全で適切な廃棄物管理の実現に貢献しています。



■ コンテナガードを取り付けた状態

環境・防災・教育からつながる 地域との共創

地域とともに循環する資源活用の取り組み

循環型社会の実現に向け、昭和工場で製造したバイオマス燃料由来の焼却灰を使った有機肥料を活用し、地域と連携した芝生化事業に取り組んでいます。

鳥取県境港市内の施設や公園において、農業を使用しない「芝生の公園づくり」に当社製の有機肥料を供給することで、安全で快適な環境づくりに貢献しています。

その取り組みの第一弾として、旧誠道小学校跡地のグラウンドを芝生化しました。同施設は、鳥取県を本拠地とするサッカークラブ「ガイナール鳥取」のアカデミー組織(中学・高校年代チーム)の活動拠点として活用されています。

さらに、境港市および株式会社SC鳥取と連携し、未芝生化公園への展開を進めるため、2025年1月に「公園等の芝生化に関する連携協定」を締結しました。

また、大阪・関西万博「とっとりフェス」では、当社の肥料を活用したサステナブルなまちづくりをテーマに体験型ジオラマ展示を実施し、資源循環による地域づくりの取り組みを広く発信しました。



■「公園等の芝生化に関する連携協定」調印式の様子



■大阪・関西万博「とっとりフェス」

災害時の電力供給と廃棄物処理で地域を支える協定を締結

私たちは、災害時や緊急事態における地域の安全と生活支援に向け、自治体との連携を強化しています。2025年5月1日、鳥取県境港市と「災害時における応急対応業務に関する基本協定」を締結しました。本協定では、私たちが所有する電気自動車を境港市へ貸与し、施設で発電した電力を電気自動車に充電、避難所等での給電に活用するほか、住民所有の電気自動車への充電にも対応します。これにより、災害時の電力供給体制を強化し、市民の生命・財産の安全確保に寄与します。

また、2025年2月1日には鹿児島県曾於市と「緊急事態発生時における廃棄物処理に関する協定」を締結しました。一般廃棄物処理施設での対応が困難な場合、当社が協力し、迅速な処理を支援する内容です。

現在、鳥取・島根両県を中心に30の自治体・組合と同様の協定を締結しており、災害時の廃棄物処理や電力供給を通じて、地域のレジリエンス向上に貢献しています。今後も、持続可能な社会の実現に向け、災害発生時に迅速な対応ができる体制を整え、地域とともに安心を支える仕組みづくりに努めていきます。



■電気自動車



■「災害時における応急対応業務に関する基本協定」締結式の様子

油漏れ事象への緊急対応による感謝状をいただきました

12月9日に発生した融雪装置の油配管からの油漏れ事象において、緊急要請を受け、三光社員が応急対応および油を含んだ土砂の回収・処理作業を実施しました。

この対応に対し、関係鉄道事業者および関連会社より感謝状を拝受しました。

今後も、地域の安全と環境を守る役割を担う企業として、迅速かつ誠実な対応を通じて、社会およびお客様から信頼される存在であり続けられるよう努めていきます。



■感謝状

探究学習を通じた次世代との学びと交流

探究学習の一環として、地元の教育機関と連携し、キャリア教育や環境教育に関する複数の学習プログラムに参加しました。

立正大学浜南高等学校(2024年6月~11月)

本学習では、生徒の皆さんが「SDGs達成に向けた企業の取り組み」をテーマに企業活動を調査・分析し、社会への啓発を目的とした動画制作に取り組みました。制作にあたって、生徒の皆さんは企業からの要望を理解したうえで、企業からの情報発信の視点を踏まえ、ターゲットに分かりやすく伝えるための表現や構成を考えながら作品制作を行いました。音楽や字幕、イラストの動きなど、高校生ならではの柔軟な発想が随所に活かされ、完成度の高い作品が制作されました。また、本取り組みは、生徒にとって企業の情報発信や社会課題を考える学びの機会となるとともに、企業にとっても次世代の視点に触れる貴重な交流の場となりました。

【その他参加学習】

境港市立第一中学校

「ワクワク境港(職場体験学習)」(2025年9月)

鳥取県立境高等学校

「境考学」(2025年9月)

国立大学法人鳥根大学



■動画作成中の様子

中学生向け職業体験イベント「MATSUE WAKU-WORK(まつえワクワーク)」

1月21日、くびきメッセ(島根県松江市)で開催された中学生向け職業体験イベント「MATSUE WAKU-WORK(まつえワクワーク)」に参加しました。本イベントは、地域に魅力的で社会の役に立つ仕事や会社を知り、様々な分野の第一線で活躍する職業人に会い、その仕事に挑戦する機会を提供することで、将来のキャリア形成を支援することを目的としています。当日は、松江市内19校から約1,800名の中学2年生が来場しました。

当社ブースでは、廃棄物の分別や処理方法を学ぶ「産廃カードゲーム」と、リサイクル燃料の原料配分を体験する「映えるRPFづくり」を実施しました。約100名の生徒が参加し、楽し

みながら循環型社会の仕組みや環境保全の重要性を理解する機会となりました。今回の取り組みを通じ、地域の次世代に資源循環への関心を高めてもらい、持続可能な社会づくりに寄与する活動となりました。



■産廃カードゲームに挑戦



■「映えるRPFづくり」での作品

安全と信頼を支える 運営基盤

安全と環境を最優先に——『安全環境推進室』の新設

「安全はすべてにおいて優先する」という理念のもと、社員の命と健康を守り、持続可能な事業運営を実現するため、2024年10月に「安全環境推進室」を新設しました。

近年、安全意識の高まりと労災ゼロを目指す企業責任を背景に、従来の現場中心の安全管理に加え、経営直轄で教育・監査・改善を一体化した、より強固な安全管理体制の構築を進めています。これにより、組織全体で安全に向き合う姿勢を高め、より全社的な安全文化の定着を図ります。本部署は、「ゼロ災害」を目指す安全文化の確立を使命とし、事故削減、安全教育の強化に加えて、5S活動の徹底や日常的なリスク把握・改善の仕組みづくりも推進し、安全で健全な事業運営の実現を担っています。

【主な取り組み】

- 入社時における安全衛生研修の見直し・強化
- 若年層社員向けのKYT(危険予知トレーニング)研修の充実
- 全工場および全積替保管施設での5Sパトロール定着化の推進
- VRを使用した防災訓練
- 安全衛生委員会の強化(全社/各工場) など

これらを通じて、現場の安全意識を高め、事故の未然防止を徹底していきます。

安全は企業活動の基盤であり、私たちは法令遵守にとどまらず、業界の安全基準をリードする企業として、常に改善と向上を重ねる姿勢を持ち、地域やお取引先様から信頼され続ける存在でありたいと考えていきます。



■ VR防災訓練



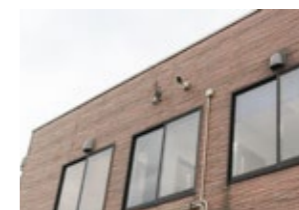
■ 特別訓練



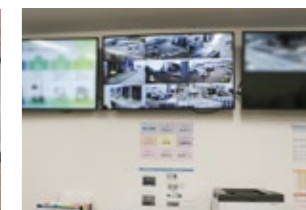
■ 特別訓練

カメラ設置による工場内管理の強化

潮見コンビナートでは、場内の安全性と業務効率の向上を目的に、長距離映像伝送 無線ビデオ監視システムを設置しました。受付事務室内から、待機場や荷下ろし場の状況をリアルタイムで把握でき、車両誘導や場内案内をより迅速に行えるようになっていきます。これにより、混雑の緩和や事故リスクの低減、搬入される方の待ち時間短縮につながっています。今後も、安全な受入環境の整備を進め、安心して廃棄物を搬入いただける体制づくりに取り組んでいきます。



■ 工場内設置カメラ



■ 事務所モニター

消火競技大会

10月17日、境港市消防保安協会主催の『第45回事業所対抗消火競技会』に参加しました。三光は米子地区防火安全協会を通じて当大会に参加しており、毎年若手社員が挑戦しています。全13チームが集まった男子の部において消火技術のタイムを競った結果、この度第3位の成績を収めることができました。今後も社内での消火訓練および安全に対する意識を一層高めていきます。



■ 競技中の様子

江島工場内施設「Eshima Re:terra Base」への名称変更

江島工場内施設「TRS工場」は、新設備導入と一部改修に伴い、「Eshima Re:terra Base(エシマ リテラ ベース)」へ名称を変更しました。本名称は社内公募(36件)と投票により決定したものです。「Re:」には問いかけや対話の始まり、「Terra」には地球や自然、未来とのつながりへの思いを込めています。本施設を環境課題と向き合う拠点とし、資源化・処理の新たな可能性に挑戦するとともに、地域・社会への貢献を推進していきます。



■ Eshima Re:terra Base

社員の成長とモチベーションを追求する取り組み

健康経営の推進

すべての従業員が心身ともに健康で能力を最大限に発揮できる職場づくりを目指し、「体の健康」「心の健康」「財の健康」「家族の健康」「社会の健康」の5つの健康を柱としたトップメッセージ『健康経営宣言』を発信しています。この宣言に基づき行政機関や保険会社との連携を図りながら、ヘルスリテラシー向上に向けた啓発活動や健康づくり施策を積極的に推進しています。

【健康経営研修(食事とこころの相談会)】

境港市健康づくり推進課の協力のもと、管理職者および本社・周辺拠点の従業員を対象とした「食事とこころの相談会」を開催しました。

研修では、食育SATシステムによる日頃の食生活の栄養バランス評価や、ストレス・睡眠に関する問診シートを用いた保健師による健康相談を実施し、従業員の健康意識向上につながる機会となりました。

【介護と仕事の両立支援オンラインセミナー】

従業員が将来直面しうる介護と仕事の両立に備えるため「介護と仕事の両立支援オンラインセミナー」(主催:アクサ生命保険株式会社)を開催しました。本社・江島工場・潮見

コンビナートをはじめ、各拠点がオンラインで参加し、多くの従業員が受講しました。

今後も、介護支援や仕事と家庭の両立に向けた支援策をさらに充実させ、誰もが健康で働きやすい職場環境の実現を目指していきます。

【時間単位有休の導入】

従業員の多様な事情に配慮し、より柔軟な働き方の実現するため、時間単位で取得できる年次有給休暇制度を導入しました。本制度により、有給休暇を無駄なく効率的に活用できるようになり、仕事とプライベートの両立推進に寄与しています。



■ 介護と仕事の両立支援オンラインセミナー受講の様子



■ 健康経営研修の様子

永年勤続表彰

三光グループの発展のために尽力し貢献してきた社員に対して、入社20年・30年という節目の年に功労を称える表彰式を行っています。今年度は、勤続20年の社員8名が表彰を受けました。式では、社長の三輪より長年の尽力に感謝と、今後のさらなる活躍や後進育成への期待が述べられました。和やかな雰囲気の中で賞状が贈呈され、社員一同、これからも「楽しく・真面目に・一所懸命」業務に励む決意を新たにしました。



■ 当日の出席者

こども参観日

7月27日、昨年に続き2回目の開催となる社員向け親子参加型イベント「こども参観日」を、江島工場にて開催しました。当日は、工場見学や高所作業車・重機の乗車体験に加え、新たな取り組みとして「オリジナルデコ車両を作ろう!」工作ワークショップや「オリジナルクレープづくり」を実施しました。

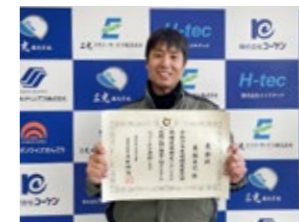
ご家族に三光への理解や関心を深めていただくとともに、親子での交流を育む、笑顔あふれる充実した一日となりました。



■ 計量機を用いた重量クイズの様子

産業洗淨職種技能検定での表彰受賞

物流部特殊メンテナンス課の社員2名が、令和6年度前期技能検定「産業洗淨(高圧洗淨作業)」において優秀な成績を収め、知事表彰および職業能力開発協会会長表彰を受賞しました。技能検定制度は、職業能力開発促進法に基づき、技能の水準を公証する国家検定制度です。今後も、技術力の向上とサービス領域の拡充を通じて、お客様の多様なニーズに応えられる体制づくりを進めていきます。



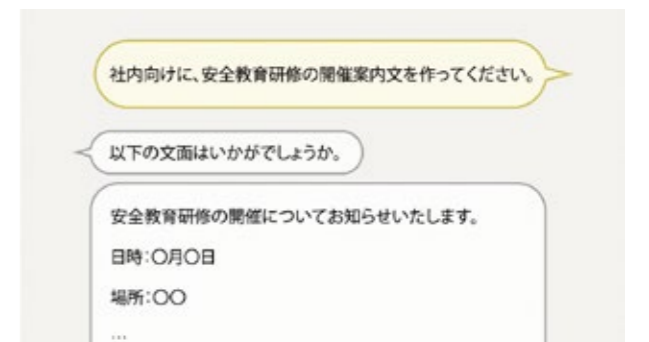
■ 知事表彰



■ 協会表彰

AI活用を通じた社内スキル向上の取り組み

近年のAI技術の進展を受け、当社ではAI知識に関する研修への参加や、社内での導入・活用に関する情報共有を進めています。文書作成、画像生成、販促物制作など、実務に即した場面でのAIアプリ活用について、業務への活用可能性を検討しながら実践を重ねています。これらの取り組みを通じて、社員一人ひとりのデジタルスキルと主体的な学びを高め、変化の速い時代に対応できる力を育みながら、社員がいきいきと力を発揮できる「活人化」を進めていきます。



■ 文章生成AIの活用例

People

三光自慢の社員！

江島工場所属/2025年4月入社
門脇来花

2025年に新入社員として入社。日々の業務に真摯に向き合い、重機の免許取得など自己成長にも積極的に取り組む姿勢が、職場に新しい風を運んでくれる存在です。

Q 三光に入社したきっかけや、現在のお仕事内容について教えてください。

A 体を動かす仕事や重機操作に興味を持ち、就職先を探る中で三光に惹かれました。現在はリフトマンを中心に、ローダーやコンボなど重機操作を担当しています。入社前は女性でも現場で働けるのか不安もありましたが、実際には荷降ろしや積み込みなど幅広い業務を任せてもらい、お客様や運転手の方から感謝の言葉をいただくことも多く、やりがいを感じています。大変な場面では周囲の方がサポートしてくださるため、安心して働ける環境の中で、日々成長しながら頑張っていきたいです。



■ 休日は友人と食事をしながらリフレッシュ！

江島工場所属/1977年4月入社 財務課所属/1992年10月入社
猪崎節雄 猪崎和美

ご夫婦合わせて勤続80年を迎え、社内表彰を行いました。

長年で培った経験と知識、そして人柄によって、職場を暖かく支えてこられたお二人は、三光にとって誇りある社員です。

Q これまでで印象に残っていること、長く勤めてこられた理由は何ですか？

A 長く勤めようと特別に意識していたわけではなく、気が付けば現在に至った、というのが正直なところ。入社当時は、経理伝票をすべて手書きで処理しており、腱鞘炎になるのではないかとと思うほど大変でした。決して楽なことばかりではありませんでしたが、周囲に支えられ、「頼りにしているよ」の一言にどんなに勇気づけられたことか。これから活躍される皆さんには、仕事の中に小さな発見や自分なりの達成感を見いだしながら、周囲への思いやりを大切にしてほしいと思います。(猪崎和美)



■ 社内報により訪れた旅行先の思い出

Topics

地域とともに価値を生み出すものづくり

特例子会社である株式会社サンライズさんこうが運営する就労継続支援B型事業所「ワーキングプレイスサンライズ」では、地域企業からの業務受託に加え、企業ノベルティやお土産品、観光地グッズなどの製造・販売に取り組んでいます。



松江城 御城印板

各地のお城で発行される「御城印」は、「登城記念証」や「城郭印」や「登城記念符」など、さまざまな呼び方で親しまれています。サンライズさんこうが手がける御城印板は、城跡を中心に、かつて城が存在した風景を鳥瞰

図としてイラスト化し、鳥取県産のヒノキ「大山かおるヒノキ」に一枚ずつ印刷、焼印を施した木製の御城印です。現在は100種類以上を展開しており、お土産としてももちろん、コレクションアイテムとしても多くの方に楽しんでいただいています。中でも松江城の御城印板は、松江城天守国宝指定10周年を記念して制作され、累計3,000枚以上を手に取っていただくヒット商品となりました。



青谷上寺地遺跡 出土品フィギュア

青谷かみじち史跡公園(鳥取市青谷町)の開園1周年を記念し、弥生時代に作られた土器・木製容器・盾などの出土品をモチーフとしたフィギュアを制作し、カプセルトイとして販売しました。本商品は、青谷上

寺地遺跡から出土した実物の出土品を研究用にデータ化したものをもとに、3Dプリンターを用いてフィギュアとして形にした商品です。今回採用した、既に存在する研究データをもとに制作する方法は、従来とは異なる新たな手法への挑戦でしたが、出土品の形状や質感を忠実に再現した、リアルでハイクオリティな仕上がりとなりました。歴史・文化に関心のある方はもちろん、カプセルトイとして幅広い年代の皆さまに楽しんでいただいている商品です。

SANKO Group 三光グループ

本社エントランスに坂本和也氏によるオリジナル作品を設置

三光ホールディングス

2025年5月10日、本社エントランスに鳥取県米子市出身の現代作家・坂本和也氏による横4.5mの大作絵画を設置しました。テーマは「エコサイクルー人間と自然との関係ー」。グループの環境事業理念と深く共鳴する作品で、自然光に映える淡い色彩が空間を華やかに彩ります。設置当日は坂本氏と学芸員による解説も行われ、作品の魅力や制作背景を共有しました。訪れる方々に癒しと新しい発見を届ける

この作品は、私たちの環境への想いを映し出す一枚です。ご来社の際はぜひご覧ください。



■ 坂本和也氏



■ エントランスに設置された作品

国民スポーツ大会で5位入賞

サンライズさんこう

サンライズさんこうの長澤萌葉が、国民スポーツ大会「わたしSHIGA輝く国スポ」トランポリン女子で自己最高の5位入賞を果たしました。日中は職業指導員として利用者支援や製品づくりに携わり、終業後や休日に練習を重ねてきました。職場の温かい応援を力に、難度の高い演技をやり切った長澤の姿は、私たちに大きな勇気を与えてくれます。これからも社員の挑戦を応援し、仕事と競技の両立を後押しする環境づくりに努めていきます。



■ 長澤演技中の様子



■ 5位入賞

レンタカー事業を展開

三光エネルギーサービス

三光エネルギーサービスでは、石油製品の卸売から配送まで一貫対応するエネルギー企業として、山陰両県で燃料供給や廃棄物の回収・運搬を担い、地域の暮らしを支えています。また、島根県松江市の江島SSと鳥取県境港市の米子鬼太郎空港SSの2拠点でガソリンスタンドを運営し、地域の重要なエネルギー供給拠点として安定した燃料供給に努めています。米子空港SSでは「100円レンタカー」を提供

しています。観光や代車、荷物の運搬など、さまざまな用途で利用されており、新車40台を保有。さらに近隣の大手レンタカー事業者とも連携し、利便性を高めています。



■ 米子鬼太郎空港SS

残コンブロックによる資源循環の取り組み

コーケン

コーケンでは、工事現場で発生した残コンを再資源化して製造する「残コンブロック」を販売しています。全国统一規格の型枠に余剰コンクリートを流し込んで成形する凸凹構造のブロックで、積み重ねるだけで高い安定性が得られ、土留めや簡易擁壁、資材置き場など多用途に活用されています。耐久性・耐火性・遮音性にも優れ、建材・土木・廃棄

物処理など幅広い業界ニーズに対応。廃材の有効活用により、環境負荷の低減とコスト削減の両立にも寄与しています。



■ 残コンブロック

Data

財務データ、社会データ、環境データ

Financial data, Social data, Environmental data

各活動実績データ、産業廃棄物
処分業、収集運搬業許可一覧を
掲載しています。

活動実績データ

財務データ

科 目	47 期	46 期	差 額
	2024年10月~2025年9月	2023年10月~2024年9月	
売 上 高	9,193百万円	8,897百万円	296百万円
粗 利 益	7,510	6,877	633
販 売 管 理 費	5,858	5,380	478
営 業 利 益	1,652	1,497	155
経 常 利 益	1,535	2,490	△955

社会データ

従業員数の内訳 (2025年3月末現在)

従業員数	男 性	女 性
325名	259名	66名

雇用状況

平 均 年 齢	45歳 (2024年4月1日)
平 均 勤 続 年 数	10年 (2024年度)
障 が い 者 雇 用 者 数	15名 (2024年度)

階層別女性労働者の割合 (2025年3月末現在)

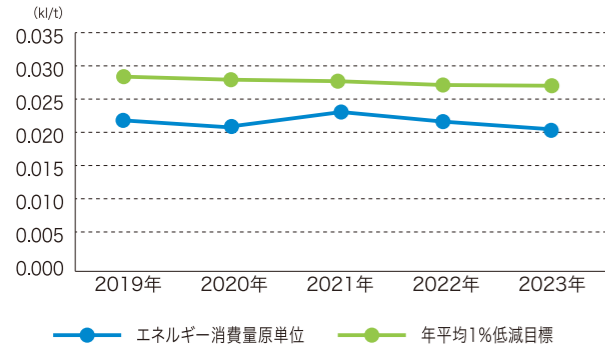
一 般 社 員	64名 (20%)
管 理 職	2名 (8%)
役 員	0名 (0%)

育児休業関連 (2024年4月~2025年3月末まで)

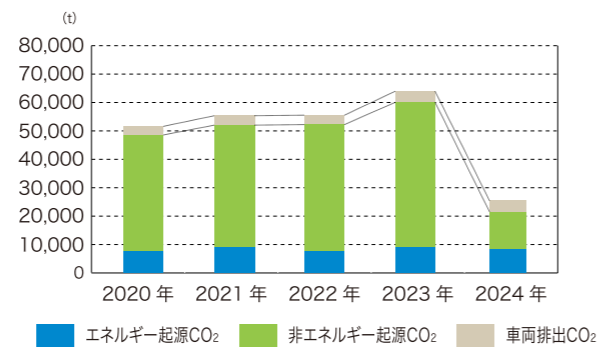
育児休業取得対象者数			育児休業取得人数		
女性	男性	計	女性	男性	計
2名	8名	10名	2名	2名	4名

環境データ

エネルギー消費量原単位の推移

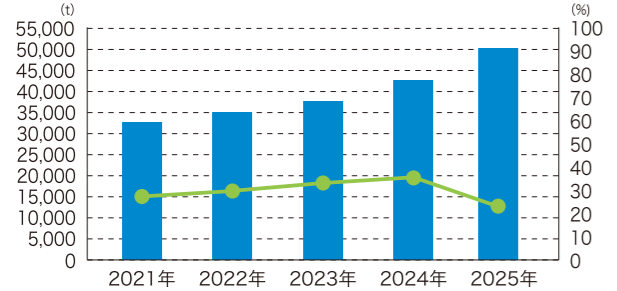


温室効果ガス(CO₂)排出量(t-CO₂)の推移

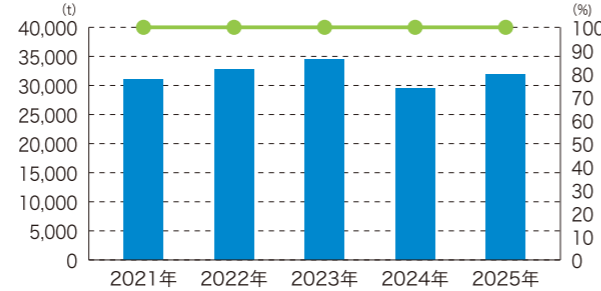


再資源化

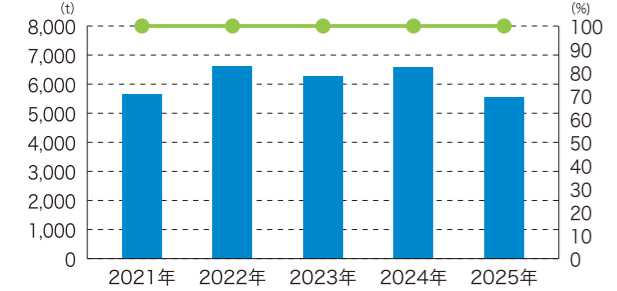
潮見工場



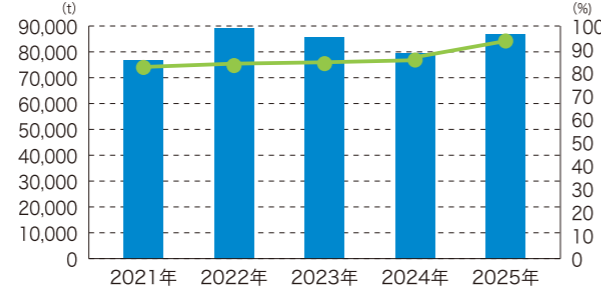
ウェストバイオマス工場



昭和工場



江島工場



2025年度の排ガス分析データ

工場	炉	測定値	法規制値
潮見コンビナート7号炉	ばいじん [g/Nm]	0.002	0.08
	硫黄酸化物 [K値]	0.140	17.5
	窒素酸化物 [ppm]	68.0	250
	塩化水素 [mg/Nm]	68.0	700
ダイオキシン類 [ng-TEQ/Nm]	0.022	1	
潮見コンビナート10号炉	ばいじん [g/Nm]	0.001	0.08
	硫黄酸化物 [K値]	0.326	17.5
	窒素酸化物 [ppm]	80.0	250
	塩化水素 [mg/Nm]	110.0	700
ダイオキシン類 [ng-TEQ/Nm]	0.039	1	
ウェストバイオマス工場	ばいじん [g/Nm]	0.003	0.15
	硫黄酸化物 [K値]	0.495	17.5
	窒素酸化物 [ppm]	190.0	250
	塩化水素 [mg/Nm]	15.0	700
ダイオキシン類 [ng-TEQ/Nm]	0.045	5	
江島工場	ばいじん [g/Nm]	0.018	0.08
	硫黄酸化物 [K値]	0.033	17.5
	窒素酸化物 [ppm]	110.0	250
	塩化水素 [mg/Nm]	22.0	700
ダイオキシン類 [ng-TEQ/Nm]	0.021	1	

許可一覧

産業廃棄物処分業許可・事業所一覧

工場	産業廃棄物													特別管理産業廃棄物						※														
	燃えがら	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動物性残渣	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラスくず等	がれき類	家畜ふん尿	ばいじん	鉱さい	引火性廃油		引火性廃油(有害)	強酸	強酸(有害)	強アルカリ	強アルカリ(有害)	感染性廃棄物	燃えがら(有害)	廃油(有害)	汚泥(有害)	廃酸(有害)	廃アルカリ(有害)	ばいじん(有害)	低濃度PCB廃棄物	
潮見	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
WB	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
昭和	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
江島	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

※環境大臣認定 ※詳細な許可情報について、三光webページの「情報開示」に掲載しております。

産業廃棄物処理業許可一覧

2026年1月現在

地方	行政名称	産業廃棄物	
		処分業	特別管理産業廃棄物
中部地方			
中国地方	鳥取県	03124003489	03174003489
	島根県	03220003489	
	松江市	12920003489	
収集運搬			
中国地方	鳥取県	03114003489	03164003489
	鳥取市	12811003489	12861003489
	島根県	03210003489	03260003489
	松江市	12910003489	
	岡山県	03303003489	03353003489
	広島県	03400003489	03450003489
	山口県	03506003489	03556003489
九州地方	福岡県	04000003489	04050003489
	大分県	04408003489	
	鹿児島県	04607003489	04657003489
四国地方	高知県	03900003489	03950003489
	徳島県	03600003489	03650003489
	香川県	03709003489	03759003489
	愛媛県	03807003489	
近畿地方	京都府	02601003489	02651003489
	滋賀県	02501003489	02551003489
	兵庫県	02804003489	02854003489
	大阪府	02700003489	02750003489
	奈良県	02900003489	02950003489
	三重県	02400003489	
和歌山県	和歌山県	03000003489	03050003489
	和歌山県	03000003489	03050003489
関東地方			
中部地方	福井県	01805003489	01855003489
	愛知県	02300003489	02350003489
	静岡県	02201003489	02251003489
	山梨県	01900003489	01950003489
	長野県	2009003489	2059003489
	岐阜県	02100003489	02150003489
	富山県	01606003489	01656003489
石川県	01709003489	01759003489	
関東地方	東京都	13-10-003489	13-60-003489
	神奈川県	01403003489	01453003489
	埼玉県	01101003489	01151003489
	千葉県	01200003489	01250003489
	群馬県	01000003489	01050003489
	栃木県	00900003489	00950003489
沖縄地方	茨城県	00801003489	00851003489
	沖縄県	04704003489	04754003489

I want to keep looking for the "can do" until the end.

最後まで「できる」を探し続けたい。

年間処理数量

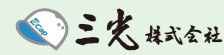
180,043t/年
(2024年4月～2025年3月実績)

Jクレジット残高

2,085t-CO₂
(2025年11月現在)



グループの経営戦略策定及び経営管理
〒684-0034 鳥取県境港市昭和町5-17
<https://sanko-hd.co.jp>



三光株式会社
総合環境事業
〒684-0034 鳥取県境港市昭和町5-17
<https://sankokk-net.co.jp>



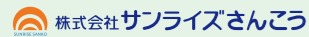
三光 エナジーサービス株式会社
石油輸送・販売事業
〒684-0034 鳥取県境港市昭和町5-17
<https://www.sanko-es.jp>



H-tec株式会社 エイチテック
建設コンサルタント
〒720-0822 広島県福山市川口町一丁目16-35
<https://www.h-tec2004.co.jp>



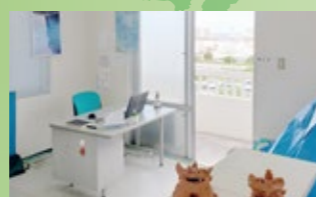
株式会社コケン
土木建築
運送
解体
産業廃棄物処理事業
〒692-0017 鳥取県安来市下坂田町290-5
<https://koken-yasugi.co.jp>



株式会社サンライズさんこう
障がい者福祉サービス
産業廃棄物処理業
〒684-0034 鳥取県境港市昭和町5-17
<https://sankokk-net.co.jp/sunrise>



■ 本社
〒684-0034 鳥取県境港市昭和町5番地17
TEL 代表 0859-44-5367 FAX 代表 0859-42-3864
営業 0859-42-5533 営業 0859-47-4532



■ 沖縄営業所
〒901-2103 沖縄県浦添市仲間1-5-7 山内ビル303
TEL 098-988-8610 / FAX 098-988-8444



■ 浜田営業所
〒697-0006 鳥取県浜田市下府町327-71
TEL 0855-24-1267 / FAX 0855-24-1277



■ 中部営業所
〒476-0002 愛知県東海名和町3丁目73-73
サウアハイツ1F
TEL 0859-21-2100 / FAX 0859-47-4531



■ 板橋営業所
〒174-0041 東京都板橋区舟渡1-7-6
TEL 03-5914-0288 / FAX 03-5914-0299



■ 東日本営業部
〒111-0052 東京都台東区柳橋1丁目3-6
VORT浅草橋駅前皿10階
TEL 03-6263-0480 / FAX 03-6263-0481



■ 安来支店
〒692-0017 鳥取県安来市下坂田町290-5
(株式会社コーケン内)
TEL 0854-27-7705 / FAX 0854-22-4288



■ 倉吉営業所
〒682-0913 鳥取県倉吉市和田東町146-3
TEL 0858-27-0270 / FAX 0858-24-6020



■ 鳥取支店
〒689-0105 鳥取県鳥取市福部町山544-1
TEL 0857-75-2551 / FAX 0857-74-3551



■ 江島工場
〒690-1401 鳥取県松江市八束町江島1128番地105
TEL 0852-76-3586 / FAX 0852-76-3426



■ 潮見コンビナート (潮見工場7号炉・10号炉)
〒684-0074 鳥取県境港市潮見町1番
TEL 0859-44-5277 / FAX 0859-44-7500



■ 潮見コンビナート (ウェストバイオマス工場)
〒684-0074 鳥取県境港市潮見町2番地2
TEL 0859-21-4860 / FAX 0859-21-4861



■ 昭和工場
〒684-0034 鳥取県境港市昭和町5番地11
TEL 0859-42-6960 / FAX 0859-42-6961



■ 出雲支店
〒699-0621 鳥取県出雲市斐川町富村653
TEL 0853-73-7310 / FAX 0853-72-5117

編集後記

Sustainability Report 2025『みらいbook』をご覧いただき、ありがとうございました。本レポートは「本分を貫き、新たな価値を創造する」をテーマに作成しました。この一年は、各部署がそれぞれの役割を意識しながら事業活動に取り組む中で、新たな社内組織の発足や健康経営の推進など、社内基盤の強

化が進んだ年でもありました。また、新たな事業や挑戦の広がりも感じられる年となりました。今期で芽生えた取り組みを大切に育みながら、持続可能な未来に向けて歩みを進めてまいります。

総務課編集チーム